

わかたけ



鹿児島市立谷山北中学校
令和4年9月7日発行
令和4年度学校便り 第6号

精気 自主 友愛

「気持ちの通う挨拶が
交わされる学校」

生活のリズムを整え、充実の2学期に

鹿児島市立谷山北中学校
校長 原崎 竜一

生徒の皆さんの明るく元気な笑顔が始業式の日に見られ、2学期がスタートしました。生徒の皆さんは、この夏休みを振り返り「これはやり遂げた。」「これは継続できた。」と実感できることは何ですか。一方で、「あと少しやり残した。」「当初の計画のとおり進まなかった。」と課題に感じていることは何ですか。

夏休み期間中に「これはやり遂げた。」「これは継続できた。」ことを基盤にして、残された課題を解消・解決していく2学期にしていきたいと思います。

生徒の皆さんは学校生活のリズムを取り戻せていますか。「生活のリズムを整える。」と言葉で表すことは簡単ですが、生徒の皆さん一人一人が自覚して整えていくことが大切です。

先日、ある月刊誌に大変興味深い記事がありました。脳内科医師の加藤俊徳先生が、

「脳を活性化させるためには、まず起床と就寝の時間は毎日ほぼ同じにした上で、脳をしっかりと働かせて、しっかりと休ませるというメリハリのある生活が大切です。」

と書かれています。中学生として、学習と部活動などの文武両道を目指している生徒の皆さんに大変参考になる記事だと思います。

適切な睡眠時間については個人差もあろうかと思いますが、生活のリズムの第一歩として、起床時間と就寝時間を決めて、自らリズムを作り出すことが大切です。

2学期は年間で最も授業日数も多く、体育大会、持久走大会・駅伝大会、合唱コンクールなどの学校行事、そして部活動の各種大会等も多く、充実の2学期となります。学校行事や学習、部活動等に一生懸命取り組み、中学校生活の楽しい思い出をつくっていきましょう。

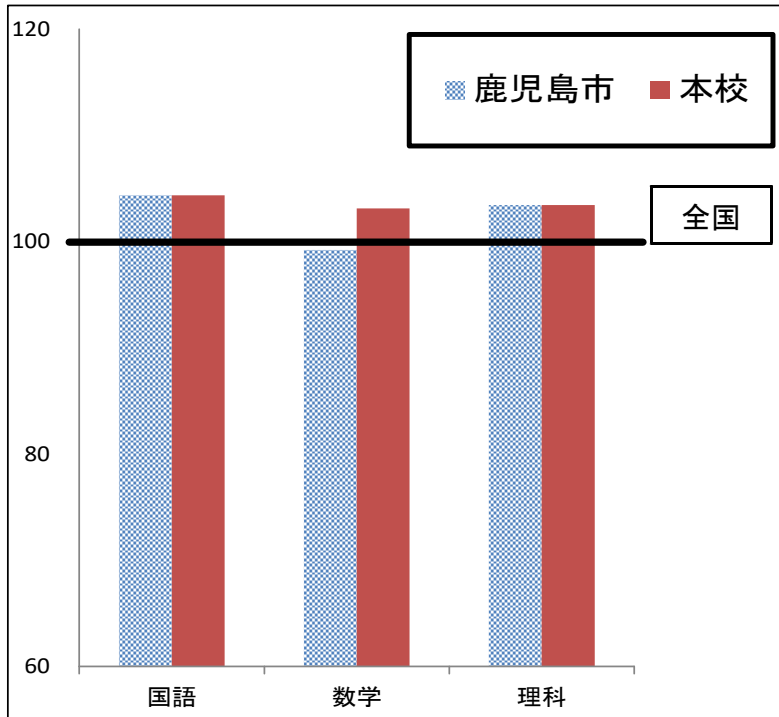
1・2年生は、生徒会や部活動において役割も大きくなります。また、3年生にとっては、進路選択をする時期です。自分の進路目標を明確にもち、実現できるように根気強く努力を積み重ねてほしいと思います。

本校におきましても感染症対策を継続するよう努め、2学期の教育活動の充実を図ってまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。先ほど紹介しました記事に続きがあり、医師の加藤俊徳先生が、

「楽しかった昔を思い返すことが脳を活性化させます。……ぼくはふるさと新潟の海辺の空や、家の裏山の木々や草花などのことをよく思い出します。そのとき感動したこと、楽しかったことの記憶や感情が呼び覚まされることによって、脳が活性化します。」

と書かれています。脳を活性化させ、生き生きと活動できる1日の生活のリズムをしっかりと作っていきましょう。私はこの2学期の生徒の皆さんの成長する姿を心から楽しみにしています。

全国学力・学習状況調査結果より



令和4年4月19日に、中学3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果を報告します。

左のグラフは全国の通過率を100として、鹿児島市と谷山北中の通過率を表しています。本校は、全国の平均通過率を国・数・理の3教科で上回る結果となりました。今後も授業改善を図り、学力向上に努めて参ります。

<生徒質問紙>

本校の生徒は、基本的な生活習慣が確立されていたり規範意識が高かったりするという傾向が見られます。また、昨年度は課題であった計画を立てて学習に取り組むことが改善されています。一方、読書量や新聞を読む習慣、地域行事への参加について、

て、全国の平均を比べて低い傾向が見られました。朝読書や各授業を通じて活字に多く触れさせる機会を設け、情操を養い、世の中の情勢への興味・関心を高めていきたいと思っております。

<国語>

「表現の技法について理解する」「行書の特徴を理解する」問題について通過率が約45%と課題がありました。表現の技法や名称、行書について再度、授業で扱ったり類似問題等で復習したりして、理解の定着を図っていきます。

<数学>

特に数と式の領域で高い通過率でした。計算問題等の基礎的・基本的事項がしっかり身についているようです。一方、「反比例を理解している」「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する」問題の通過率が全国と比べて低い結果が出ています。授業において思考力

10月の主な行事(予定)

月日	曜	行事等
10/3	月	キャプテン会
5	水	1, 2年生薬物乱用防止教室
6	木	3年生性教育講座
7	金	1, 2年生性教育・命の授業
8	土	土曜授業 避難訓練 家庭学習強化週間(～13日)
12	水	3年生血液教室
13	木	2学期中間テスト(～14日)
17	月	心の教育の日 ライフスキル授業
18	火	2年生上級学校訪問 専門部会・代議員会
21	金	生徒総会
24	月	全校朝会
27	木	1年生知覧特攻平和会館見学

・判断力・表現力を育成する場面を工夫・改善したり、家庭学習の課題を工夫したりするなどして苦手分野の克服とさらなる学力向上を図ります。

<理科>

「科学変化に関する知識及び技能とエネルギーを柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使う仕組みの例の全体を動かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できる」「液体が気体に変化することによって、温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるか」の問題の通過率に課題がありました。特に1分野の学習内容において、実験などの結果から分析したり、考察したりしたことをまとめ、説明する場面の充実を図るなどして、課題の克服に努めていきます。